

『 まいこばなし 』

※スパークスのボトムアップ・リサーチを通じて、
MY小話として舞妓さんが日本株の情報をお伝えします。

スパークスの日本株の情報発信レポート

第71号(2012年4月27日)



「日本企業を動かす“おじさん”について」

2011年12月に小学館より、なかむらみ著「おじさん図鑑」が出版されました。この本は、著者が約4年間にわたるおじさんへの観察と取材をまとめた1冊となっており、街で出会う“愛すべき・おじさん”が図鑑形式で紹介されています。「偉いおじさん」、「趣味を極めるおじさん」、「おじさんの基本シャツ紹介」など約50種類の愛すべき・おじさん情報がイラストと共に記載されています。この本のタイトルのインパクトと内容の面白さから注目を浴び、雑誌やTVなどで数多く紹介されました。以前この本のイベントが開催され、著者と編集者の方の話を聞く機会がありました。イベントの中でこの本を購入した人の性別・年齢分布の話があり、それによると購入者の内訳は、中年層の女性を除き、各世代・各性別でそれぞれ均等に分布しているそうです。おじさんに対する興味が多くの世代にあることが覗えます。中年層の女性が少ないのは、日常生活で毎日接しているために興味が湧かないのかもしれませんが。

日本企業について考えると、俗におじさんと言われる世代が働き盛りとして、現場での作業や企業の経営者など第一線で働いています。つまり日本経済の主役となり、経済を引っ張っているわけです。そこで企業経営層に注目した場合、どのような世代構成となっているのか調べてみました。帝国データバンクでは「全国社長分析」という統計を発表しており、2012年1月発表の同統計によれば、各年の社長世代別構成や平均年齢を調査しています。これによると、2011年における社長の平均年齢は59歳9ヶ月となり、1981年以降最高年齢となっています。さらに資本金別に社長の平均年齢を見ると、資本金1億円未満では59歳7ヶ月、資本金10億円以上では64歳0ヶ月となっており、規模間の年齢差が生じています。企業の意思決定は、社長1人で行うものではなく取締役なども参加します。そこで日経平均株価指数を構成する各企業の取締役の平均年齢を調べてみました。平均年齢が上位の企業は、キッコーマン、明治ホールディングスや日立製作所などが入り、その平均年齢は約66歳となっています。逆に年齢が低い下位の企業は、松井証券、ヤフーやソフトバンクが入り、その平均年齢は約56歳であり、上位と下位の年齢差は約10歳となります。



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。

『まいごばなし』

※スパークスのボトムアップ・リサーチを通じて、
MY小話として舞妓さんが日本株の情報をお伝えします。

スパークスの日本株の情報発信レポート

第71号(2012年3月31日)



さらに年齢だけではなく、その人の考えなども興味があるところです。上場企業で新たに任命された取締役の方々はどのような将来認識をお持ちなのでしょう。日本能率協会が2011年9月に発表した「新任役員の素顔に関する調査」によると、「10年後の日本社会がより良い社会になっているかと思うか」という質問に対して、65.5%の方が「なっていると思う」と、33.2%の方が「なっていないと思う」と回答しています。10年後の社会を左右すると思われる日本のエネルギー政策に対しては、「原子力発電所の依存は最小限に留め他の代替エネルギーとの並存で展開すべき」や「当面原子力発電に頼らざるを得ないが早期に代替エネルギーに完全にシフトすべき」など、エネルギー政策の見直しを求める声が4分の3を占める結果となっていました。また、同じく日本能率協会が2011年4月に発表している新入社員調査と比較すると、新入社員以上に、将来の日本に前向きであるようです。

※当コラムに掲載された企業は、あくまでも当コラムの内容の理解を深めて頂くためのご参考として掲載したものであり、個別企業を推奨しているものではありません。



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。